

観世流・能

ともえ
「巴」

和泉流・狂言

みず かけ むこ
「水掛掣」

観世流・半能

とおる
「融」

小牧山文化事業
小牧市制70周年記念

入場無料

小牧山薪能

たきぎ

のう

おもて ちゅうじょう

面: 中将

作: 入江美法

KOMAKI-YAMA
TAKIGINOH

令和7年9月20日(土)

会場

小牧山 史跡公園

(雨天の場合: 小牧市市民会館 大ホール)

※演能中に雨が降った場合は中止となります。

主催/小牧市・小牧市教育委員会・(一財)こまき市民文化財団

後援/中日新聞社、小牧市文化協会、(一社)小牧市観光協会、

小牧豊山くらしのニュース、小牧商工会議所

協力/公益社団法人能楽協会 名古屋支部

問合せ先/(一財)こまき市民文化財団 (0568) 71-9700

※午後6時からの薪能公演中のカメラ、ビデオ、録音機器、携帯電話等による

撮影・録音・録画は固くお断りいたします

※薪能会場内への酒類の持ち込み、水分補給以外の飲食はできません

観覧席開場 / 午後4時

オープニング
セレモニー / 午後5時15分

薪能開演 / 午後6時



一般財団法人
こまき市民文化財団



SDG 未来
こまき

番組

(午後)

5:15 オープニングセレモニー
名古屋市立名東高等学校能楽研究部 仕舞
火入れ式

6:00 観世流・能「^{とほ}巴」

シテ (里女/巴御前)
ワキ (旅僧)
笛 (里人)

吉沢 旭
橋本 幸
松田 高義
山村 友子
後藤 津幸
河村 裕一郎
梅若 紀佳
瀬戸 洋子
下川 宜長
武田 友志
山中 雅志
松山 幸親
伊藤 裕貴
村井 邦子

大鼓
後見

地謡

7:15 — 休憩10分 —

7:25 和泉流・狂言「^{みずかけむこ}水掛掣」

シテ (掣)
アド (男)
アド (女)
後見

鹿島 俊裕
井上 松次郎
井上 蒼大
今枝 郁雄

7:45 観世流・半能「^{とほ}融」

シテ (融大臣)
ワキ (旅僧)
笛

久田 三津子
梶元 正樹
山村 友子
船戸 昭弘
河村 眞之介
加藤 洋輝
下川 宜長
松山 幸親
武田 友志
山中 雅志
伊藤 裕貴
梅若 紀佳
瀬戸 洋子
山脇 由美子

大鼓
後見

地謡

8:10 終演予定

※出演者等は一部変更となることがあります。ご了承ください。

能 巴(ともえ)

木曾から出てきた僧が琵琶湖の辺の粟津の原に着き、休んでいます。一人の里の女が神社に参り涙を流しています。不審に思い聞いてみると、不審なことでもないですよ、と僧の在所を聞いてきます。信濃の国木曾の田舎者だと答えると、あなたと同郷の木曾義仲の社なので拜んでくれと頼みます。そして、自分も亡者だと認め、詳しいことは里人に聞いてくれと、消えてゆきます。

僧は、里人に女は巴御前の霊だろうと教わり、夜もすがら吊っていますと、甲冑姿の女武者巴が現れ、木曾義仲と一緒に死ねなかった憾み(うらみ)で執心が残って成仏できないと、幾多の合戦の様子や義仲最後の戦いを終え、義仲形見の小袖をもち、死骸に暇乞いをした後、甲冑を脱ぎ捨てて、一人落ちていった後ろめたい執心の弔いを願ひ、消えていきます。

狂言 水掛掣(みずかけむこ)

水田を見回りにやって来た舅は、自分の田に水がないことに驚きます。よくよく見れば、隣どおしに田を持つ娘が、畦を切つて自分の田へ水を引き入れている様子。見兼ねた舅は掣を待ち伏せて意見をしませんが、忠告はやがて口論となり互いに身勝手な持論を展開。そこへ騒ぎを聞きつけ仲裁にやってきた娘までも巻き込んで…。

農耕民族である我々の思い(身勝手)がよく表現されている作品で、『我田引水』や『水掛論』の語源と教訓が盛り込まれた作品となっています。

半能 融(とおる)

東国からの都見物の僧が六条河原の院を訪れます。そこに田子(担桶)を担った老人がやって来ます。聞けば、汐汲みだと答えるのですが、海でもないのに汐汲みとはどういう

訳かと尋ねます。すると老人は、あなた此処を何処だと思つてるのですか、六条河原院というのは塩竈の浦ですと、昔、融大臣が陸奥の千賀の塩竈の浦の景色を模した所と答えます。そして、融大臣は毎日に難波の浦から潮を汲ませ、此処で塩を焼いて風流を楽しんだのだが、その後は相続する者もなく、荒れてしまったと語ります。そしてあたりの山々の名所を数々教え、長話をしてしまつたと、汐を汲むかと思うと、姿が見えなくなりました。

旅僧は所の者に融大臣の往時の塩焼きの様子を聞かされ、先程の老人の話をすると、それは融大臣の霊であるから、弔いをするよう勧められます。旅僧は、なおも奇特を見たいものと思い、旅寝をします。

貴人姿の融大臣が現れ、名月をバックに舞を舞い、夜明けと共に月の都に去っていきます。

今回は「半能」の上演形式のため、通常の能の後場(のちば)のみを上演いたします。

出典 能「巴」(http://hisadakan-oh.com/story/031_tomoe.html)
狂言「水掛掣」(https://kyogen.co.jp/outline/post_80/)
半能「融」(http://hisadakan-oh.com/story/071_touru.html)

会場までのアクセス

小牧山史跡公園…小牧市堀の内一丁目1番地

無料シャトルバス 14:30~22:30

小牧駅東
(バスターミナル南側)

会場
(山北橋口)

約10分間隔で運行します

名鉄バス……………「小牧市役所前」停留所すぐ
こまき巡回バス こまくる……………「小牧山前」停留所すぐ
名鉄小牧線(名古屋市営地下鉄)……………
「平安通駅」で、地下鉄上飯田線・名鉄小牧線へ乗り換え、
「小牧駅」下車、西へ約1.2キロ(徒歩約15分)、名鉄バス(約5分)
こまき巡回バス こまくる(約11分)「小牧山前」停留所すぐ
名鉄犬山線……………
「岩倉駅」下車、名鉄バス(約20分)「小牧市役所前」停留所すぐ

東名高速道路……………「小牧インター」出口から約5分

国道41号……………小牧市内「弥生町」交差点を東へ約600m

名鉄高速バス(近距離高速線)……………

「名鉄バスセンター(名古屋)」乗車(約40分)「栄」乗車(約25分)
「小牧市役所前」停留所すぐ

飲酒運転は絶対におやめください

駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

同日開催

市制70周年記念

こまき信長夢夜会



史跡小牧山は織田信長が4年間を過ごし、天下統一への足がかりとした信長ゆかりの地です。その小牧山に信長の秋の夜会を再現します。会場内を彩る照明やお花、お酒、グルメ、JAZZ、情熱的なフラメンコのステージ、そんな“おもてなし”の数々を皆様に信長に招かれた客人の気分できず楽しんでください。
詳しくは <https://www.city.komaki.aichi.jp>

9月20日(土) 午後3時から午後10時

会場

小牧山史跡公園
小牧市堀の内一丁目1番地

雨天決行

問合せ先

小牧市シティプロモーション課(0568)76-1172
(一社)小牧市観光協会(0568)39-6123[当日]

雨天会場は小牧市市民会館 大ホール となります。
(決定は、14時頃こまき市民文化財団ホームページ等にてお知らせします)



音声ガイダンス

能のセリフや場面の解説(「巴」「融」)を音声ガイダンスする、イヤホン付FMラジオを貸出します。

料金 500円(レンタル料)+1,500円(保証金)
※保証金はラジオ返却時に返金します。

申込方法 当日、薪能FM ガイダンスラジオ貸出所
(小牧山史跡公園内)にてお申込みください。